新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～９月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

李蔵山に登り、初めて朝日が昇るのを見た。空がグラデーションになり、山の間から昇る朝日が、とても美しかった。（５年女子）

風が吹いて、稲穂がゆれ、まるで海の波がうねっているようで、とてもきれいだった。（５年女子）

朝、田んぼのあぜ道を歩いていると、新鮮なにおいがした。すがすがしくてとてもいい気持ちになった。（６年女子）

小鳥は、足が短いぶん、びっくりするような速さで足を回して走っていた。どのぐらいの速さで足を回しているのかな。すごいな。（６年女子）

和傘やちょうちんは、燃えにくい紙やぬれにくい紙が使われている。日本の技術は、すごいな。（６年男子）

学校の日は、休みの日が待ち遠しいし、休みの日は友達に会える学校の日が待ち遠しくなる。不思議だな。（５年男子）

太陽の光が当たったヒグラシの羽は、まるでガラス細工のように美しかった。（５年男子）

雨が降る前は、雨のにおいがする。なつかしいような、不思議なにおいだ。（６年女子）

美しものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものに触れたときの感覚、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情がひとたびよびさまされると次にその対象についてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけ出した知識はしっかりと身につきます。

レイチェル・カーソン「センスオブワンダー」より

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第４号　Ｒ３．９．３０